



One World, One Hope!

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2022富山
ご協賛、ご寄付、ご支援、チームウォーク参加のお願い

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2022富山 実施概要

名称	リレー・フォー・ライフ・ジャパン2022富山
主催	公益財団法人日本対がん協会 公益財団法人日本対がん協会富山県支部 リレー・フォー・ライフ・ジャパン2022富山実行委員会
後援	厚生労働省・富山県・富山市・高岡市・魚津市・氷見市・滑川市・黒部市・砺波市・小矢部市・南砺市・射水市・舟橋村・上市町・入善町・朝日町・富山県医師会・富山市医師会・富山県歯科医師会・富山県健康増進センター・富山県中小企業団体中央会・北日本新聞社・富山新聞社・北日本放送・富山テレビ放送・チューリップテレビ
日時	2022年5月21日(土) 14:00~20:00
会場	富山県富岩運河環水公園



リレー・フォー・ライフとは

1985年、一人の医師がトラックを24時間走り続け、アメリカ対がん協会への寄付を募りました。「**がん患者は24時間、がんと向き合っている**」という想いを**共有し支援**するためでした。

ともに歩き、語らうことで生きる勇気と希望を生み出したいというこの活動を代表するイベントは、現在世界約30ヶ国、約6000カ所で開催され、年間寄付は470億円にのぼります。このイベントはアメリカ対がん協会(ACS)が国際ライセンスを持っている企画で、日本では公益財団法人日本対がん協会(以下、対がん協会)にライセンスが与えられています。がん患者さんやそのご家族を支援し、地域全体でがんと向き合い、がん征圧をめざすチャリティー活動です。

Save Livesを使命とし、がんの告知を乗り越え、生きていることを祝福し(祝う Celebrate)旅立った愛する人たちをしのび(しのぶ Remember)がんに負けない社会を作る(立ち向かう Fight Back)ことをめざします。

2016年にはリレー・フォー・ライフが日本へ導入され10周年を迎えました。「**命を讃え、子供たちの輝く未来に**」というスローガンのもと、全国49カ所で活動が展開されました。



リレー・フォー・ライフのロゴマークは、太陽を月と星をかたどった世界共通のものです。それは昼夜を問わず、がんという病に立ち向かう世界中の数えきれない人々の勇気とリレー参加者への絶え間ないサポートを象徴しています。



いつの日か、がんで悩むことのない社会が訪れるという希望の星をかがげ輝く太陽の下、降りそそぐ月の光の中で参加者が一丸となって共に病に立ち向かう。リレー・フォー・ライフのロゴには、そんな思いが込められています。

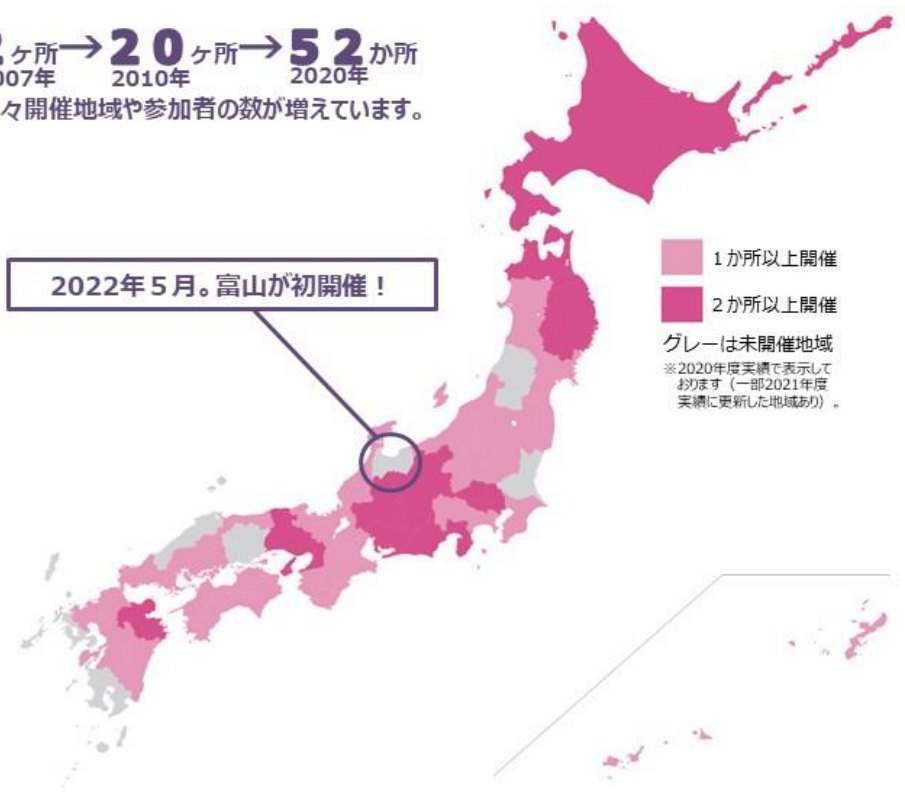
がん患者さんやそのご家族を支援し、地域全体でがんと向き合い、がん征圧を目指します。1年を通じて取り組むチャリティー活動です

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2022富山について

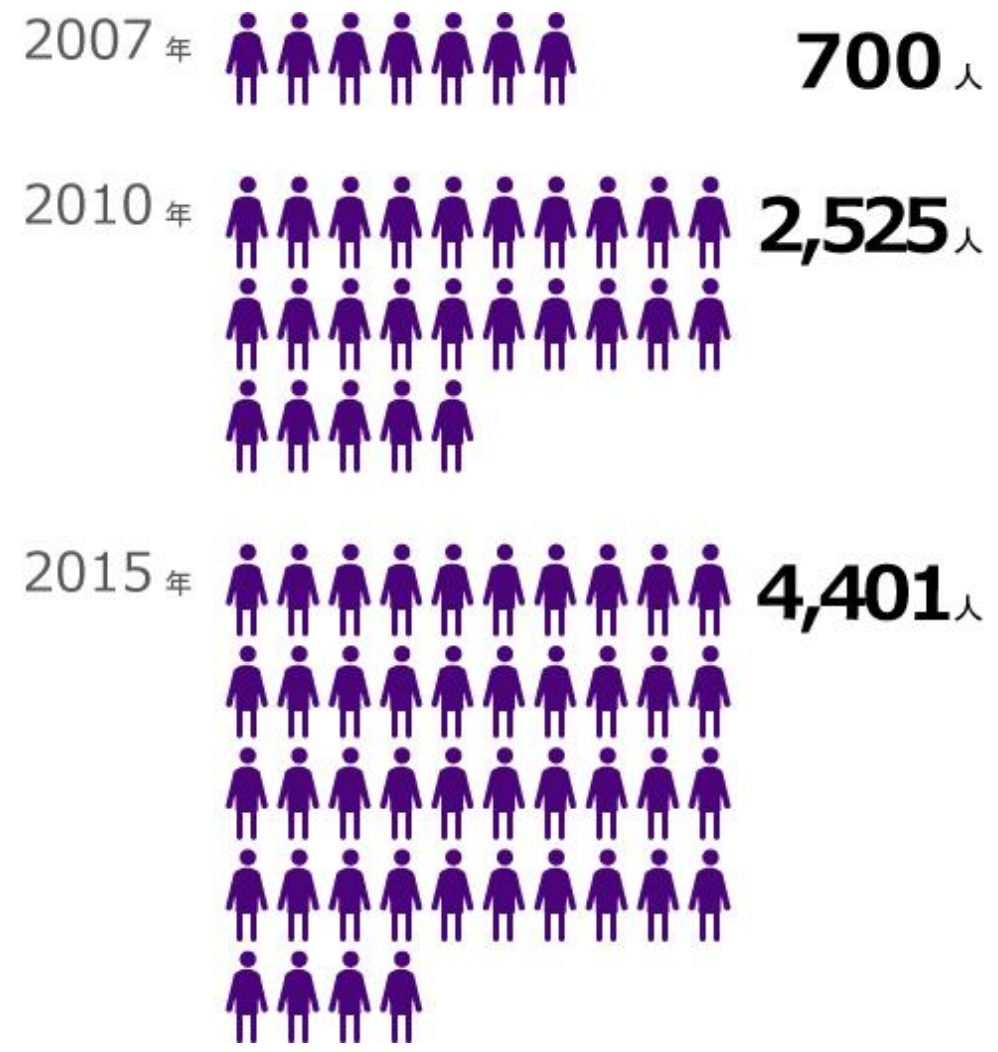
ともに歩き、語り合うイベントを通じてがん経験者やご家族に希望を灯します。年々開催地域や参加者の数が増えています。

リレー開催地

2ヶ所 → 20ヶ所 → 52ヶ所
 2007年 2010年 2020年
 年々開催地域や参加者の数が増えています。



参加したサバイバー（がん経験者）の人数



ともに歩き、語り合うイベントを通じて、がん経験者やご家族に希望を灯します。



メッセージウオーク①/
がん経験者（サバイバー）や家族や遺族（ケアギバー）と共に会場内、周辺を歩きます

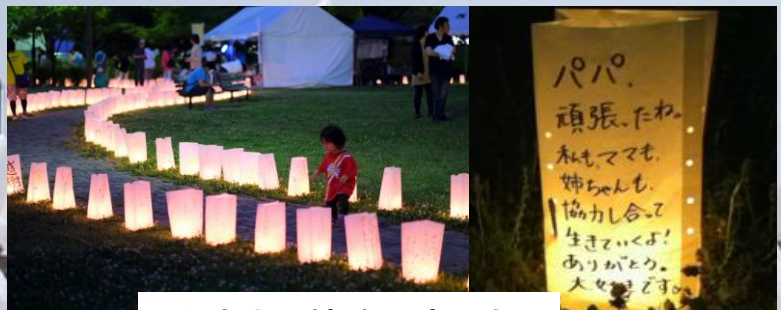


メッセージウオーク②/
チームを作りメッセージフラッグや仮装語り合いながら楽しく歩きます

ナイトウオーク/24時間歩きながら夜超えに挑戦
※チームウオークとして実施



チャリティイベント/フリーマーケットやチャリテの為にイベントも沢山企画しています



ルミナリエ/夜イベントのメッセージキャンドル



ステージ/チャリティコンサートやトークなど実施

歩く | 楽しむ | し の ぶ | 学ぶ | 支援する

リレー・フォー・ライフには、さまざまな参加形態があります。
個人でチームで、また、イベントを支えるボランティアや実行委員としても。
ルミナリエや寄付金も参加方法の一つです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。
参加を希望される方は、各地の実行委員会にお問い合わせください。

歩く walk

がん経験者（サバイバー）を祝福！ サバイバーズラップ

リレーの最初の1周は「サバイバーズラップ」と呼ばれ、がん患者さんやがん経験者が歩きます。がんの告知、闘病を乗り越えてこの日を迎えられた方々の命を祝福します。会場によっては、ご家族やご遺族（ケアギバー）による「ケアギバーズラップ」が続きます。



夜越えに挑戦！チームウォーク

家族や友人、同僚、サークルの仲間など、好きなメンバーでチームをつくり、たすきをつなぎましょう。夜通しのリレーウォークは、24時間がんに向き合っている患者さんとともに、がんに挑むということの象徴です。もちろん、夜通しでなくても無理のない範囲でご参加ください。事前に各地の実行委員会にお申込みください。



楽しむ enjoy

ステージイベントを楽しもう！

ダンスや歌、演奏などさまざまな催しが、ウォーク中の参加者を勇気づけてくれます。ステージに出演していただくこともできます。また、がん経験者のトークや医師によるセミナーや講演会など、がんについて理解を深めるためのイベントも企画されています。



チャリティー企画を楽しもう！

会場では、参加チームが個性豊かなチャリティーの企画をしています。手作り品の販売やマッサージ、子どもたちの遊びのコーナーなど、盛りだくさん。ぜひいろいろなテントに立ち寄ってみてください。また、チームでの楽しい企画もお待ちしております。



歩く | 楽しむ | **しのぶ** | 学ぶ | 支援する

しのぶ remember

学ぶ learn

大切な人のために ルミノリエにメッセージを

がんで亡くなった方への追悼や、闘病中の方への励ましの想いを、ルミノリエバッグで表現しませんか。夜通し明かりが灯り、参加者の足元を照らします。ルミノリエバッグへのご寄付は、がん征圧のための資金に充てられます。



エンプティテーブルで 心をひとつに

追悼と希望のセレモニーは、RFLのとても大事な時間です。会場に来られなかった大切な人をしのび、それぞれのがんの経験を思い、がんに苦しむことのない未来に希望を見出します。



啓発ブースでがんを知ろう

クイズやパネル、触診モデルの展示など、がん啓発に関するブースが用意されています。健康な人も、がんについての新しい知識が得られることでしょう。検診車が出勤し、その場でがん検診が受けられる会場もあります。



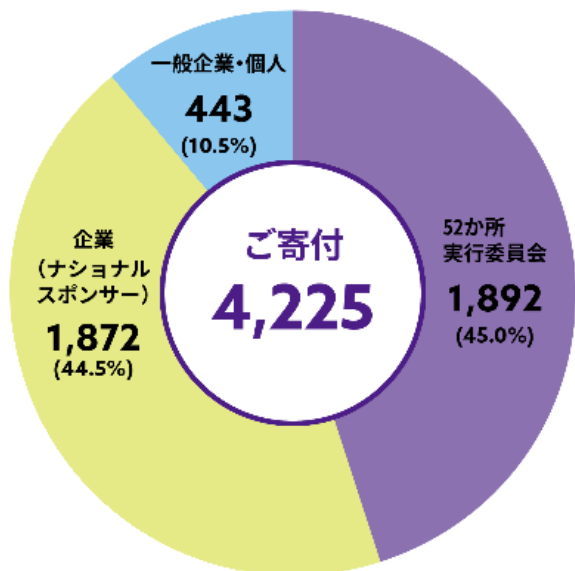
がん患者さんとの交流

RFLには、多くのがん経験者が参加されます。二人が一人にがんになる時代です。機会があれば、ぜひがん患者さんと交流してみてください。がん患者さんが自身の経験を語る「サバイバー・トーク」の企画が、各地で設けられています。



2020年度 収支報告2020年度のリレー・フォー・ライフ活動に対する寄付総額は5,523万円(昨年対比7,014万円減)でした。各地の52実行委員会が使用した活動運営経費は1,298万円でした。その経費を差し引いた4,225万円を日本対がん協会はお預かりしました。

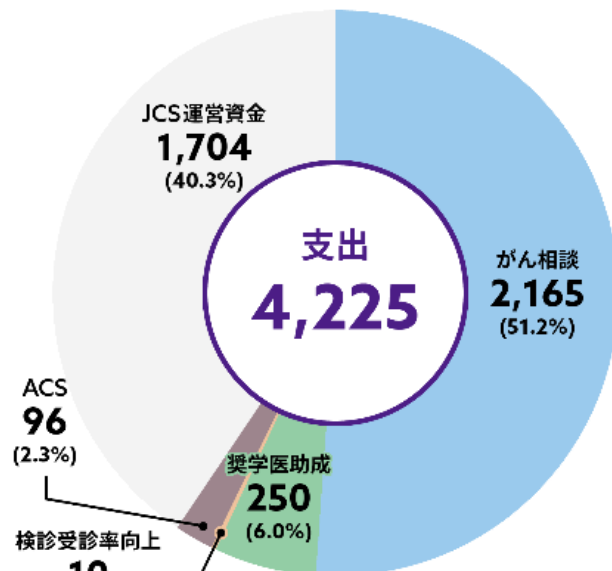
【2020年度 RFLJ寄付収入とその使い道】



単位：万円

【収入の部】

- * 実行委員会からのご寄付は前年比2,867万円減
- * ナショナルスポンサーからのご寄付は、2社増えて396万円増



単位：万円

【支出の部】

- * 「JCS運営資金」にはルミナリエやロウソクなどのリレーアイテムとその他経費（職員人件費除）
- * ACS=アメリカ対がん協会へのライセンス使用料支払い分
- * 研究助成「プロジェクト未来」プログラムは募集を見送った
- * 海外奨学医の募集も実施しなかったが、前年度授賞の奨学医が一人渡米したため250万円を支払った